



## 所信声明 女性器切除 Female Genital Mutilation

### 背景

女性器切除（FGM）とは、「女性外性器の一部もしくは全体の切除、あるいは医学的治療以外の理由で女性器を損傷する行為」のことをいい、4つに分類される<sup>1</sup>。何世紀にもわたり、この慣習は様々な民族・社会によって、伝統的・社会的・文化的理由で行われてきた。結婚の要件として行われている場合には、性に関する心理的要素、社会学的・文化的・衛生的・審美的・社会経済的要素が絡んでいる<sup>2</sup>。人々の国外移住によって、従来行われていた地域以外の国でも FGM が見られるようになった。FGM は女性の性と生殖に関する健康、出産にも影響を与え、施術直後と長期にわたる合併症につながる。

FGM の身体的・心理的健康への影響は、実施された切除の種類と損傷による重篤度によって異なる。女性の性と生殖に関する健康、出産<sup>3</sup>にも影響を与え、施術直後と長期にわたる合併症につながる。急性の合併症には、強烈な痛み、ショック状態、大量出血、死亡が含まれる。局所の感染、急性尿閉、破傷風、肝炎、HIV 感染なども起こりうる。長期的な症状としては、嚢胞と腫瘍、ケロイド瘢痕の形成、尿失禁の原因となる尿道損傷、性交疼痛（痛みを伴う性交）、性機能障害、出産困難などが挙げられる。FGM は、その対象となった女性の人生と心に消えない傷を残す場合があり、不完全さ、不安感、抑うつ感覚に悩む女性も多い。心的外傷後ストレス障害の発生も、FGM を経験した女性では多くなる<sup>4</sup>。

FGM の医療化はますます大きな問題になりつつある。これは「公立あるいは民間の医療施設、自宅、その他場所を問わず、何らかの分類の医療提供者によって FGM が実施される状況をいう。女性の人生のある時点で行われる陰部再封鎖も含まれる<sup>5</sup>。」これはおそらく FGM

<sup>1</sup> <http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs241/en/>

<sup>2</sup> <http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs241/en/>

<sup>3</sup> WHO. 2016. Health Risks of FGM. [http://www.who.int/reproductivehealth/topics/fgm/health\\_consequences\\_fgm/en/](http://www.who.int/reproductivehealth/topics/fgm/health_consequences_fgm/en/)

<sup>4</sup> WHO. 2016. Health Risks of FGM. [http://www.who.int/reproductivehealth/topics/fgm/health\\_consequences\\_fgm/en/](http://www.who.int/reproductivehealth/topics/fgm/health_consequences_fgm/en/)

<sup>5</sup> [http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/70264/1/WHO\\_RHR\\_10.9\\_eng.pdf](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/70264/1/WHO_RHR_10.9_eng.pdf)

が社会的・文化的要因を含めず、健康問題としてのみ長年対応されてきた結果であり、医療提供者が実施すれば合併症リスクが軽減されるという希望の現れであると考えられる<sup>6</sup>。

## 所信声明

FGM の廃絶を求める各機関の訴え<sup>7</sup>に沿って、ICM は、FGM が有害な慣習であり、少女と女性の人権の侵害であると認識し非難する。

医療提供者による FGM の実施を阻止しようとする各機関の世界的な戦略<sup>8</sup>に沿って、ICM は、助産師が国内外の倫理綱領を尊重し、いつ、いかなる形式の実施にも支援・参加を控えるべきであることを強調する。

ICM は、会員団体ならびに個々の助産師に対し、この慣習とその健康への影響を認識し情報を得て、少女と女性の健康と人権を守るように強く求める。

ICM は、各国政府に対し、助産師とその他の医療提供者が FGM の支援・実施を控え、FGM の合併症に苦しむ女性と少女のために能力を備えた医療提供者であるよう支援し、好ましい環境を作ることを求める。

## 会員団体への推奨

ICM は、会員団体に対し、以下の行動によって各国において FGM の廃絶を訴えるよう求める。

- この所信声明と一致する方針を採択すること。
- 女兒を危害から守る取り組みに参加すること。
- 適切な政策と戦略の採択において、国内外の政府機関・非政府機関を支援すること。
- FGM の廃絶のための法律整備に寄与すること。
- 会員に対し、FGM への参加・支援を控えるよう呼びかけること。
- 出産に臨む FGM を受けた女性に対して質の高いケアを提供できるよう、会員に対し意識を高く持ち、情報を得、実践能力を習得するよう呼びかけること。

<sup>6</sup> [http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/70264/1/WHO\\_RHR\\_10.9\\_eng.pdf](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/70264/1/WHO_RHR_10.9_eng.pdf)

<sup>7</sup> WHO. 2008. Eliminating female genital mutilation: an interagency statement UNAIDS, UNDP, UNECA, UNESCO, UNFPA, UNHCHR, UNHCR, UNICEF, UNIFEM, WHO.  
[http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/43839/1/9789241596442\\_eng.pdf](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/43839/1/9789241596442_eng.pdf)

<sup>8</sup> [http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/70264/1/WHO\\_RHR\\_10.9\\_eng.pdf](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/70264/1/WHO_RHR_10.9_eng.pdf)

## 関連 ICM 文書

- ICM. 2017 所信声明 助産師、女性と人権  
ICM. 2017 所信声明 出産における文化と伝統  
ICM. 2014 基本文書 助産師の倫理要綱

## その他の関連文書

- Abdulcadir J, Margairaz C, Boulvain M, Irion O. *Care of women with female genital mutilation/cutting*. *Swiss Medical Weekly*; Jan6; 140: w13137. 2011.
- Chibber R, El-Saleh E, El Harmi J. *Female circumcision: obstetrical and psychological sequelae continues unabated in the 21st century*. *Journal of Maternal, Fetal, and Neonatal Medicine*. 2010.
- Dettmeyer R, Laux J, Friedl H, Zedler B, Bratzke H, Parzeller M. *Medical and legal aspects of genital mutilation and circumcision part I: female genital mutilation (FGM)*. *Arch Kriminol* Jan-Feb; 227 (1-2): 1-222011.
- UNAIDS/UNDP/UNECA/UNESCO/UNFPA/UNHCHR/UNHCR/UNICEF/UNIFEM/WHO. *Eliminating female genital mutilation: an interagency statement*. 2008.
- UNFPA/UNHCR/UNICEF/UNIFEM/WHO/FIGO/ICN/IOM/MWIA/WCPT/WMA. *Global Strategy to stop health-care providers from performing female genital mutilation*. 2010.
- UNFPA. *Changing a harmful social convention: Female Genital Mutilation/Cutting*. 2005.
- UNFPA. *Female Genital Mutilation/Cutting. A statistical exploration*. 2005
- UNFPA. *FAQ's on Female Circumcision*. 2007
- UNFPA, UNHCR, UNICEF, UNIFEM, WHO, FIGO, ICN, MWIA, WCPA, WMA. 2010. *Global Strategy to stop health-care providers from performing female genital mutilation*.  
[http://www.who.int/reproductivehealth/publications/fgm/rhr\\_10\\_9/en/](http://www.who.int/reproductivehealth/publications/fgm/rhr_10_9/en/)
- UNICEF. 2016. *Female Genital Mutilation/Cutting. A Global Concern*.  
[https://www.unicef.org/media/files/FGMC\\_2016\\_brochure\\_final\\_UNICEF\\_SPREAD.pdf](https://www.unicef.org/media/files/FGMC_2016_brochure_final_UNICEF_SPREAD.pdf)
- WHO. 2016. *Female Genital Mutilation. Fact sheet 241*. Geneva,  
<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs241/en/UNECA>,
- WHO. 2008. *Eliminating female genital mutilation: an interagency statement* UNAIDS, UNDP UNESCO, UNFPA, UNHCHR, UNHCR, UNICEF, UNIFEM, WHO.  
[http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/43839/1/9789241596442\\_eng.pdf](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/43839/1/9789241596442_eng.pdf)
- WHO. *Female Genital Mutilation- new knowledge spurts optimism. PROGRESS in sexual and reproductive health research*

**2005年ブリスベン国際評議会にて採択**

2017年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定： 2023年

2017年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。